

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	千代田区外神田2-17-4
園名	保育室「愛の園」

1. 活動のテーマ

当園が開園以来継続して行っている教育活動の中の【英語】を活かしながら【ことば】についての探究活動を実施し、日認知能力の向上等の保育内容の充実を図ります。

<テーマの設定理由>

開園以来、月2回30分ずつの英会話教室の中で、子どものみならず保育士も共に参加して一緒に英語に触れて参りました。そんな中、外国人の保護者の方が数名いることから、お迎えに来ると英語で話しかけてみようするなど、英語への興味関心が高まってきていると感じます。今回はプレバレーションさんによる英語教室の中で生きた英語に触れ、日本語や英語など言葉への興味をもっと高めていけると思っています。またネイティブの保育補助も入り、外国の方との交流を深めて参ります。

2. 活動スケジュール

乳児は英語と日本語の絵本に触れ、違いについて知る機会を持つ。幼児は昨年度の活動を進めるなかで「英語を話すお友だちと英語で話をしてみたい」「英語で伝えるにはなんと言うんだろう？」という気持ちが高まってきた様子。両方のことばの違いや特徴への疑問を問いとして設定し、英語・日本語両方の歌の教材、絵本を用意して、ことばの違いに関して知る中で、それぞれの言葉をつかう人たちや、国、文化を探求していく。日本語や英語を話す保育者、講師それぞれが保育に入ることにより普段の生活の中で聞き、ことばの違いについて探求できるようにする。またその様子を写真や動画を使って記録する。

活動が終わったあと、英語講師と外国人の保育補助を含めて振り返り、内容については掲示し保護者と共有する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

環境設定： ケアタイムの中で

準備物：豊かになるオノマトペ絵カード

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

3, 4歳児クラスでケアタイムの中で豊かになるオノマトペ絵カードを見て、日本語のオノマトペに合わせて英語での言い方を知る。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

担任がオノマトペ絵カードを見せ、「色々なカードがあるね。どういう気持ち、状況かわかるかな？」と声をかける。

驚いた表情の子どもが映っているカードを見ると「びっくりしてる！」とひとりが声をあげる。るみ先生が「surprise!」と教えてくれる。喜んでいる表情のカードでは子ども自ら「happy!」と英語で声に出す。「あつあつ」→「hot」、「にこにこ」→「smiling」「ぬるぬる」→「slimy」、「キラキラ」→「twinkle」「イライラ」は…?と質問すると「angry!」と一人が正解を答える。「ゴクゴク」を見て「なんか疲れて水飲んでるね」との声がある。亀が「のろのろ」歩いているね。それは英語でなんていうかな?と聴くと、「んー」と考えている様子。「slow」と教えてもらい、るみ先生の顔を見ながら同じように「slow」と声に出す。

5. 振り返り<振り返りによって得た先生の気づき>

日本語には豊富にオノマトペがあるが、るみ先生に〇〇ってなんていうの、と聴くと英語では同じ表現の言葉はないね…と教えてくれたものもあった。英語ではあまりオノマトペがないことを知ることができた。また、英語で同じような意味合いの言葉があっても、同じ言葉を繰り返す表現ではなく、日頃使っている日本語はオノマトペという伝わりやすく、小さな子どもでも発音しやすい表現がある言語ということがわかった。子ども達もよく興味を示しており、今まで英語の講師に教えてもらった英単語で正解を答える姿が多く見られた。今まで日常で使って来たなんとなく使っている日本語表現を知ると共に、英語での表現も学びきっかけとなったと思う。

